

久山年神社社報 たよしの杜

第十号



宮司 本田孝裕

『立皇嗣の礼と皇位継承』

本年十一月八日、秋篠宮文仁親王殿下が皇位継承第一位になることを国内外に宣明する

「立皇嗣の礼（りっこうしのれい）」が行われました。

皇位継承が行われた場合、新しい天皇陛下の御子息に当たる方が皇太子になり、皇位継承第一位を宣明する「立太子の礼（りったいしのれい）」が行われるのが、今までの継承の形でした。

ですが秋篠宮殿下は、今上陛下（現在の天皇陛下）の弟君であるため「立太子の礼」ではなく「皇位を嗣ぐ人」という意味の「立皇嗣の礼」が行われたのです。ちなみにこの「立皇嗣の礼」は、憲政史上では初めて行われる儀式でした。

近年、皇位の安定的な継承のために女性宮家の創設や、今上陛下のお子様である愛子さま

が天皇になれるように法律を改正しようとの意見がありますが、これらは女系天皇論につながるため賛同できません。

皇位の継承は二千年以上昔から、男系の男子で継承されてきました。つまり、歴代の天皇



の系譜を遡ると初代神武天皇、さらに遡ると天照大御神まで行き着きます。これこそが日本という国そのものであり歴史なのです。

それを「現時点で男系の男子が少ないから」という理由だけで二千年の伝統を覆すような

議論は拙速で安直です。伝統を無くした国に未来はありません。

まだ昨年令和に代わったばかりですし、あと数十年はこの御代は続くでしょう。仮に次の陛下に代わる頃に秋篠宮殿下の継承が御高齢で難しいとしても、お子様である悠仁さまがいらいっしやいます。

その頃には立派な青年にお成りになられているでしょうし、まだ先の話で分かりませんが、ご結婚されて男児が複数生まれるかもしれません。そうなる则将来の男系男子が増える事にも繋がりますから、あと数十年は慌てなくても大丈夫なのです。

これは個人的な意見ですが、戦後にGHQにより皇籍を離脱させられた旧宮家の方たちがいらっしやいます。この旧宮家の方たちを皇籍復帰させたり、現在の宮家へ養子縁組をするなど、男系男子を増やすための方法はまだまだたくさんあります。

まずは男系男子を増やすための全ての方策に手を尽くすのが最善だと考えます。



久山年神社の幸先詣 (さいさきもうで)



令和3年の初詣は新型コロナウイルス感染防止のため、分散でのお参りをオススメしています。

※ 令和2年12月13日から幸先詣として破魔矢など縁起物の頒布をしています。

※ 1月31日までが初詣です。正月3が日にこだわらず、混みあう日を避けてごゆっくりお参りください。

【年末年始の予定】

除夜祭 12月31日 午後11時30分 / 歳旦祭 1月1日 午前0時30分

※参列は自由です

【授与品頒布時間】

12月13日～12月31日 午前9時～午後5時 (社務所受付)

12月31日 午後11時30分～1月1日 午前3時 (境内仮設テント)

1月1日 午前8時～午後5時 (境内仮設テント)

1月2日 午前8時～午後5時 (境内仮設テント)

1月3日 午前8時～午後4時 (境内仮設テント)



令和3年 参賀早見表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳 (満40歳になる年)	昭和56年生まれ (とり)
	女性	数え年33歳 (満32歳になる年)	平成元年生まれ (へび)
厄明 (厄晴)	男性	数え年42歳 (満41歳になる年)	昭和55年生まれ (さる)
	女性	数え年34歳 (満33歳になる年)	昭和63年生まれ (たつ)
その他の大厄	男性	数え年25歳 (満24歳になる年)	平成9年生まれ (うし)
	女性	数え年19歳 (満18歳になる年)	平成15年生まれ (ひつじ)
還暦	男女とも	数え年61歳 (満60歳になる年)	昭和36年生まれ (うし)
古稀	男女とも	数え年70歳 (満69歳になる年)	昭和27年生まれ (たつ)
喜寿	男女とも	数え年77歳 (満76歳になる年)	昭和20年生まれ (とり)
傘寿	男女とも	数え年80歳 (満79歳になる年)	昭和17年生まれ (うま)
米寿	男女とも	数え年88歳 (満87歳になる年)	昭和9年生まれ (いぬ)
七五三	女兒	数え年7歳 (満6歳になる年)	平成27年生まれ (ひつじ)
	男児	数え年5歳 (満4歳になる年)	平成29年生まれ (とり)
	男女とも	数え年3歳 (満2歳になる年)	平成31年生まれ (いのしし)

お祓いは随時受け付けています。詳しくは神社へお問い合わせください。

テレビの取材がありました

十月九日(金) KKTくまもと県民テレビで月曜日く金曜日の夕方放送されている「テレビタ」の取材がありました。

熊本のご当地芸人「もっこすファイヤー」のお二人が、神社を参拝して御朱印を頂くという「ご利益いただきます」のコーナーです。

諫早市内の神社の御朱印の特集で、他にも高城神社・諫早神社・御館山稻荷神社も取材されています。

そして十月二十二日(木)にその放送がありました。

テレビの力は大きく、放送後の週末には熊本から「テレビ見て来ました」という方が何人かいらっしやいました。

またこちらでは映りませんが、県内でも高来町、小長井町、島原など有明海に近い地域では熊本の放送局が受信できるため、島原からお越しの方も数名いらっしやいました。



御朱印専門誌に掲載されました

この度「ぴあMOOK社」が発行する『九州の御朱印めぐり開運さんぽ旅』に当神社が紹介されました。

九州各県の御朱印がたくさん紹介された御朱印専門誌で、諫早市からは当神社の他に「諫早神社」「御館山稻荷神社」も紹介されています。また、長崎県の他の神社も紹介されています。

当神社にも見本を展示しておりますので、お参りに来られた際にでもご覧下さい。

一冊九八〇円

(税抜)です。

興味のある方は書店にてお求め下さい。



新しい年にはお伊勢さま 氏神さまのお神札を

お祀りしましょう

お伊勢さまと氏神さまのお神札は家族の幸せを願うお神札です。朝には一日の無事を願い、夕には感謝のお参りをします。ご家族そろって手を合わせることは家族の絆を強めることにもなります。ご家族そろって幸せをお祈りしましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。
(数に限りがあります)

特製神棚 プレゼント



子供書道展表彰

今年の例大祭（久山くんち）は、新型コロナの影響で、残念ながら神事のみになってしまいましたが、例年の子供書道展の表彰式だけは祭典終了後に行いました。

今年は真津山小6年の平石真唯さんが県神社庁の奨励賞を、真津山小1年のみずたえなさんが宮司賞を、西諫早中1年の吉田美咲さんが奉賛会長賞を受賞されました。

例年のような、たくさんの人たちがいる前での表彰ではありませんでしたが、神社役員の皆さんから暖かい拍手が送られました。



新嘗祭・神宮大麻頒布始祭 恙なく終了しました

十一月二十三日（月・祝）毎年恒例の「新嘗祭」ならびに「神宮大麻頒布始祭」をご奉仕致しました。

今年もたくさんのお稲穂料初穂米を御奉納頂いた皆様に、紙面にて失礼ながら厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



編集後記

早いもので年の瀬が迫ってまいりましたが、今年は年が明けてすぐに新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、まさにコロナに始まりコロナに終わった一年でした。

ワクチンの開発も急ピッチで進められていますが、一日も早く安心して暮らせる日常に戻ってほしいと願うばかりです。

空気が乾燥しています。火の用心、感染症用心、諸々ご注意してお過ごし下さい。来年もどうぞ久山年神社を宜しく願います。

